

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2002年7月28日

25号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホ-ム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991

今年はいっそう楽しく 華やかに・・・

芸術の秋、力を合わせて交流と資金作りを

いよいよ夏本番！暑い日が続いていますが、皆さんお元気ですか。
先日「支える会総会」で、今年も資金作りと、地域の皆さんとの交流を兼ねてチャリティーコンサートを行うことに決まりました。

併せて、会場に近い地域作業所「アートかれん」のギャラリーで、障害者を紹介するパネル展を開催します。皆さんに楽しんでいただいて、障害者のメンバーの姿にもふれていただければいいなと、思います。

楽しく、よい汗をかきましょう！

地域の中で生き生きと暮らしたい！！

重度障害者グループホーム設立支援チャリティーコンサート

ロシアフォークアンサンブル「ベイチ&ロシアーニ」

—— 歌と踊りの演奏 ——

日時：10月9日（水）会場 午後5時30分 開演 午後6時30分

会場：港北公会堂

入場料：前売り3000円 当日3500円 全600席

同時開催・写真展「耳を澄ませば聞こえる青春のメロディー」

大倉山レモンロード「アートかれん」にて

実行委員会による取り組みにします。皆さんのご協力をお願いします。
お知り合いの方にも呼び掛けてご参加ください。お待ちしております。



平成14年度第一回総会報告

日時 平成14年7月8日（日）10時～

会場 活動ホーム「しもだ」

議題

1. 平成13年度事業報告について (承認)

2. 平成13年度収支決算報告 (承認)

現代国際巨匠絵画展・重度重複障害者作品展特別会計報告

3. 平成14年度事業計画（案）について (承認)

4. 平成14年度収支予算（案）について (承認)

5. 平成14年度会員役割分担について (承認)

13年度の主な活動

- ◇ グループホーム設立準備
- ◇ レスパイト支援活動
- ◇ 資金作り活動（国際巨匠絵画展、バザー）
- ◇ 講演会・定例学習会の実施
- ◇ 広報活動（月刊TAWAWAの発行）
- ◇ 会員の募集

※グループホームについて

13年10月「よつばホーム」開所・週4日宿泊よりはじめ、本年5月より金曜日までグループホームで過ごし土曜日に保護者宅へ帰るようになる。今後は土曜日6グループホームで過ごせるよう進めてゆく。家族の都合では現在も土、日とグループホームで過ごすこともある。

14年度の事業計画

グループホームの設立準備活動

- ◇ 希望者4人（重度重複障害者）
- ◇ 一館目に近い場所に土地を確保
- ◇ 地域の代表に説明しご理解を頂く
- ◇ 職員の募集と養成
- ◇ 体験入居の支援（一人一泊につき2,000円支援）
- ◇ 資金作り

※入居希望者家族より一人ひとりの現状を聞く

※今後は制度の充実をめざし行政に働きかけていく。

イベントを行う

内容ロシアフォークアンサンブル 10月9日（水）

実行委員会形式で行う。

参加者はメモを取りながら熱心にきいてくださり、又身近な方が障害者を抱えている現状等も話されました。
入居希望者の方々の力強い声援を受けました。イベントの実行委員にも手を上げてくださいました。
ありがとうございました。

（報告・高島）

イベントを行う

60

の

声

60

この前久しぶりに 友だちの家に話しに行きました。
ちょうど お客様が きていて 私たちと皆で一緒にお話をしました。

久しぶりに お話しがはずんで時間のたつのも 忘れていました。

お客様は 障害者で筋ジストロフィーの人です。

高校を卒業したあと 英語の専門学校に 行って、今は アメリカの大学にいらしています。ヘルパーと一緒に住んで自立した生活をして

います。
ワールドカップを見るために 日本に帰って来たと言っていました。
サッカーが とても好きで 電動車イスのサッカーの グループに入

っているそうです。
私も 一度ラポールのサッカークラブで さそわれた時、 やって見

たいなと思いましたが 他の予定と ぶつかるときが 多くてあきら

めたことを思い出しました。
その人は明るくて、障害のことは ぜんぜん感じられませんでした。
私は 上手に話しを 書けないことや よつばの 友だちのことや 少

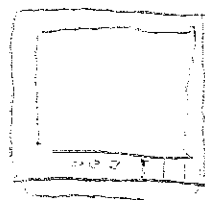
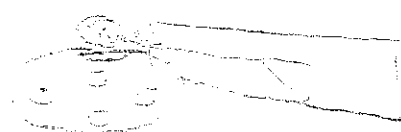
し悩んでいることを 話すと「そうなの」と言って いっしょうけん

めい聞いてくれました。
どこにも いろいろな 障害のある人たちが いるけれど みんな が

んばっているなと思って、 私も少し 元気が出ました。
「なぜ 一人でアメリカに行ったの」と聞くのを忘れました。

大原友子

お返しをしよう



絵・福田次郎

会員のたより

梅雨は何処へいったのでしょうか？毎日毎日暑い日が続いています。そして、月が2ヶ月ばかり過ぎてしまったのでしょうか？台風ばかり訪れます。普通は9月が台風の季節と思っておりましたのに。

私は台風が近づいてくると、気持ちが悪くなります。気持ちが悪いと言ってももどしたりするのではないのです。自分自身どうしてよいかわからなくなり、気圧が下がってくるのがすごく感じられます。今から40年くらい前になりますが、初めて妊娠をした時から感じるようになりました。今日も朝から眠くて、だるくて、何するのもしやでたまりません。台風が過ぎてしまうまで休むに限りです。目がさめたら台風は通過しておりました。日も差してきました。さあ、いつもの私に返ってまた仕事を始めようと思います。(井上 禮子)

今月のよつばホーム

今月は台風のために、入居者が通っている「しもだ」が休みになってしまい急遽、日中もグループホームで過ごすことになった日もありました。それに伴って、日中の支援が緊急に必要となり、在援協の地域活動支援事業で対応する事にしました。

この事業は、グループホームの日常生活の中で緊急事態が生じ、平常の活動を維持することが困難となった場合に援助者の派遣又は運営基本費の一部を助成し、グループホームで生活する障害者の安全確保と生活の向上を図ることを目的としています。

台風当日は、事前に援助者登録をして頂いた方に連絡をして来てもらい、職員の代わりに日中の支援をお願いすることが出来ました。

今後も入居者の傷病、職員の傷病、地震や火災、不測の事態など、グループホームの生活をしていく上で、色々な緊急事態があると予想されます。資格などは必要ありませんので、是非とも、大勢の方に登録をして頂きたいと思います。

登録者には、緊急事態が生じた場合、こちらから連絡をします。来てくださるかどうかは、その時のご自身の都合で構いません。

尚、登録者で緊急時に来てくださった方には在援協から1回 7,240 円の派遣費が支払われます。

※登録してくださる方は、専用の申込書がありますので、よつばホーム(045-591-7040)まで連絡をお願いします。

担当：菅原・高橋まで

ご入会、ご継続 ありがとうございます



[敬称略]

《顧問》

手塚 和夫

石井 正雄

金子 正雄

《会員》

石立 政文

《賛助会員》

山本 暁子

鈴木 玲子

秋田 裕

明田川節子

松山 万里子

鈴木 恒夫

平等 直

会員入会状況

(平成 14 年 7 月 26 日現在)

会員 19 名

賛助会員 (個人) 117 名

賛助会員 (団体) 4 団体